

Rotary



国際ロータリー第2610地区

南砺ロータリークラブ

クラブ会報

なんと

NO. 2670

URL <http://www.nanto-rc.jp>E-mail office@nanto-rc.jp

例会日/火曜日 12:30点鐘 例会場/福光会館2Fサークルルーム1 ◆事務局/富山県南砺市福光7336-4 ☎ 0763-53-1333 FAX 53-1334



谷間に咲くシヤガ

谷村修基会員撮影



第2731回例会 令和7年4月15日(火) 小雨 8℃

- ◆点 鐘 12:30 久患龍三会長
 ◆司 会 谷村賢治SAA
 ◆ソング 「奉仕の理想」
 ◆ゲスト 南砺福野高校IA顧問 小森正樹先生、
 ” 部員 出村芽生子さん、水口あかりさん



クラブHPへ

◆会長の時間 IM(都市連合会)より 久患龍三会長

去る4月6日、宮嶋温泉郷・滝乃荘にて「共有しようエンドポリオへの決意」と題してIMが行われました。

冒頭の基調講演で2690地区のバスターガバナー松本祐二さんよりなぜポリオ根絶が予定通り進まないのかを詳しく説明をしていただきました。

ポリオはウイルス性の感染症で、動物にはうつらなくて人から人にしかうつらないので、他の感染症と違い、必ず根絶することができるということ。罹ってしまうと特効薬など確実な治療法は見つかっていないこと。一旦かかると手足のまひや重症の場合は呼吸困難に陥って死に至る場合もあるそうです。

また、日本では根絶しているにもかかわらず、今でも子供が生まれてから4回もワクチン接種が続けられており多額の税金が使われています。なぜでしょう。海外のどこかからポリオウイルスが持ち込まれた場合を想定して、ワクチン接種により集団免疫を獲得し、国内でのポリオの感染を防ぐことができるそうです。現在ポリオウイルス常在国はアフガニスタンとパキスタンのごく一部に地域になりましたが、ではなぜワクチン接種が進まないのでしょうか。それらの地域では国家や部族間での紛争がいまだに続いており、ワクチン投与の部隊が入り込むことができないそうです。

ポリオ根絶まであと少しと聞かされてはや5、6年が経ちました。「もうすぐ根絶と言いながらいつまで30ドル？これってもうちょっと詐欺じゃねえ？」などと疑心暗鬼になりましたが、IMに参加して、その謎が解けたような気がします。もう少し頑張って30ドルの寄付を続けることと、ポリオ根絶活動推進の啓蒙に努める気持ちを新たにした都市連合会でした。

本日のプログラム

4月22日(火) 第2732回例会

地区協議会報告

担当

石崎和三会長エレクト

◆理事会報告

森悦夫幹事

- ①第2520地区大船渡大規模山林火災被害支援の件:1000円引渡し
- ②南砺市児童クラブ連合会講演依頼の件:7/6開催、落書帳100冊
- ③交換留学生受け入れの件(R7.8月より)
3ヶ月×4家族及びカウンセラーを決めること
- ④ミャンマー大地震支援、1000円/人
- ⑤城端曳山祭り所望代、35,000円支出
- ⑥鮎の放流、5/8(木)10:00福光カガヤき保育園児の支援。メーク扱い

◆幹事報告

森悦夫幹事

- ①ガバナー・ガバナーエレクト事務所からの案内の件
(ア)ガバナー月信4月 配信 (イ)環境月間リソース 配信
- ②ミャンマー大地震支援へのお願い 1000円/人、5月30日
- ③第2610地区ロータリーアクト第47回地区年次大会の件
・登録3名 久患龍三会長、森悦夫幹事、水口秀治地区RA委員
・日時 2025年5月11日(日)12:30～・会場 ANAホリディ・イン金沢スカイ
- ④例会変更他 射水RC、新湊RC、氷見中央RC
- ⑤第13回富山第4分区分大会・5/25(日)・高岡カントリー 頼成コースS 8:04
- ⑥第49回砺波近隣5RC合同親睦ゴルフ大会
・日時 5/23(金)・ゴルフ倶楽部ゴールドウイン スタート11:08～

◆委員会報告

* 4月の誕生日…8日木村伊徳君

* R情報・雑誌委員会 古瀬喜八郎委員長

「友」4月号紹介…目指せ！防災のTKB48など一読ください。

* 次年度委員会構成表配布及び事業計画作成依頼 野村守次年度幹事
各委員一体となって次年度の計画を立ててください。

* 友好交流委員会 船藤幸生委員長

富士見RCから案内がありました。パーティーと泊、朝食で35,000円
次の日ゴルフされる方は、ゴルフ場での朝食になります。

★ニコニコボックス

4/15

吉田美花委員長

久患君 インターアクトクラブの皆さん、ようこそ。卓話よろしくお願ひします。

榊君 木村さん誕生日おめでとうございます。福野高校インターアクト部の皆さん、ようこそ。卓話楽しみです。

川合君 今日、商工会新就職者の激励会です。今年は60名ほどの参加です。例年は80名ほど、減少しています。

武田君 先日、南砺福野高校にて入学式に出席しました。44年前を思い出しました。インターアクト部のみなさんよろしくお願ひします。
また土曜日に大阪・関西万博開会式に参加し、レセプションでは藤原紀香さんに会えました。田中市長の鼻の下が長くなったのが印象的でした。

石崎和君 祭の時期は寒いですが、でも昼間、夏みたいなときもあるかな。

鯉島君 仕事が忙しすぎます。がんばります。

吉田美君 福野高校インターアクト様、卓話楽しみです。

安居君 インターアクトのみな様、ありがとうございます。

荒井君 福野高校インターアクトクラブ頑張ってください。

小森先生ご指導よろしくお願ひいたします。

谷口君 福野高校インターアクト部の皆様、宜しくお願ひします。

藤井君 若い皆さんのお話が楽しみです。桜がそろそろ見納めですね。

尾山君 大雪の為か南砺の山々、残雪が凄いです。人形山はまだまっ白ですね。

本田君 尊敬する谷口先輩、卓話ありがとうございます。

申し訳ありませんが早退させていただきます。

高瀬君 南砺福野高校の皆さんようこそ。卓話楽しみにしています。

古瀬君 武田慎一さん富山県議会議長おめでとうございます。南砺福野高校小森先生ようこそ。生徒さんの海外研修の卓話も楽しみです。

大島君 久しぶりの参加です。

木勢君 まだまだ寒い日が続いています。芝の生育が遅いように思われます。アプローチが安心してできるように期待します。

船藤君 早退します。

◆出席報告

上坂英伸委員長

会員数	4月15日出席率	3月18日修正率
45 (免除1)	73.33% (出33)	75.00% (出33メーク3)

メーキング:谷口和尋君、古瀬喜八郎君、森悦夫君

次回の予定

5月13日(火) 第2733回例会

青少年セミナー

担当

森雄一ユース・米山委員長

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか



南砺福野高校国際課3年の出村と水口です。私たちは3月23日から3月27日までの5日間台湾研修に行ってきました。研修に行くにあたって、私たちは異文化理解を深めることと、たくさんの人と交流して自分自身を成長させることを目標にして向かいました。12月から4回ウイングウイング高岡と金沢のリファレで事前研修を行いました。台湾の立人高級中学の生徒との交流に向けて、四つの班に分かれ出し物を考えました。出し物は日本らしいものをモデルに自分たちで考え制作しました。

南砺福野高等学校 インターアクト部



顧問 小森 正樹 様

私は国際科の主任という役割で、自然にインターアクト部の顧問ということになります。本校のインターアクト部と国際科の活動について簡単に

ご紹介したいと思います。各学年に国際科1クラス（30名）があり、各クラスインターアクト部員・委員を選びましてその生徒達を中心に活動を行っています。主な内容はボランティア活動、国際交流を中心としたことで、南砺ロータリークラブからのご指導、ご助言を受けながら活動しております。ボランティア活動としては、昨年4月には能登半島大地震の被害者の心に寄り添ったメッセージを考えて送りました。昨年6月の南砺異文化交流フェスティバルではワークショップの運営に協力させていただきました。国際交流活動としてはインターアクト部に限った事ではないのですが、福光高校時代からオーストラリアにパートナー校がありますので、そちらの生徒とオンラインを使って交流活動をしております。本校の目玉である国際科の活動としての旅行では、二年生の時3月中旬に9～10日間パートナー校であるバックリー・パーク・カレッジを訪問しホームステイしながら交流を深める活動を行っておりますが、コロナ禍以降数年間なかなかうまくいっていない状況です。研修旅行に行くと学校では発表会、報告会を行っています。また国際科の生徒や希望者に外国人の先生と一日中英語のみで過ごしてもらうという企画もあります。国際交流、ボランティア活動など出来る事を色々取り入れたいと思っておりますので、またご助言、ご協力いただければありがたいと思っております。また今後ともよろしくお願ひいたします。

* I Aセミナー担当…谷口和尋委員長紹介

今日は昨年度130周年をお迎えになりました南砺福野高等学校のIA部の顧問の先生と先日台湾研修へ行ってこられましたお二人をお迎えして卓話を進めたいと思っております。南砺福野高校インターアクト部は昨年第46回インターアクト年次大会におきましてガバナー賞を受賞されています。南砺RCでは南砺福野高等学校、今年が3期目ということになりました。先程次年度の報告にもありましたが交換留学生でオードリーさんがいらっしゃいます。学校の方は南砺福野高校へ通われるということで、また仲良くして戴ければと思っています。インターアクトとロータリーの関係ですが、令和9年度に協議会の開催をホスト校として南砺福野高校が決定しています。今後ますます南砺福野高校とも交流が深くなっていくと思いますので、また皆さんよろしくお願ひします。



事前研修



交流風景



龍山寺

これから研修内容を一日ずつ紹介します。1日目は龍山寺に行きました。龍山寺にある言い伝えは、空襲があった時に避難した人たちが隠れた場所に蚊がたくさん寄ってきたそうです。蚊を嫌がって、避難した人達は家に帰りました。後で寺に戻ると寺が空襲に遭い壊れていたそうです。人々は空襲に遭わなかったのは、神様が蚊を呼んでくれたからだ、と考えたそうです。お寺は壊れましたが仏像だけは壊れず残っていました。このことから現地の人たちはより龍山寺への信仰が深まり、今でも龍山寺を大切にしています。お寺では台湾でのお参りの方法とおみくじの引き方を知ることができました。お参りをする際、名前、住所、通っている学校など自分の個人情報をできるだけ細かく伝えると願い事が叶い易いそうです。おみくじは赤色の木片を二つ手に取って投げ3回連続で表と裏が同時に出れば、端に数字が書いてある棒を引いて、数字の棚からおみくじを取り出すことができます。ゲームのように楽しみながら引くことができました。

2日目はB&Sプログラムでした。日本語ができる現地の大学生に台北市内を案内してもらおうという内容で、移動手段は徒歩とMRTと呼ばれる地下鉄を利用しました。MRTは東京などの地下鉄によく似ていて、新鮮さよりも馴染み深さを感じました。まず迪化街(てかがい)散策と道教寺院に行きました。迪化街は台北にある歴史的な問屋街であり、散策の際にはレトロな街並みを楽しむことができました。道教寺院はパワースポットで有名です。次に永康街(えいこうがい)散策に行きました。グルメやショッピングを楽しむ場所として有名な観光地です。次に台北101に行きました。ここは台北で最も有名な観光地の一つで展望台まで行くと観光客がたくさんいました。最後に士林(シーリン)夜市に行きました。夜市では食べ物の屋台だけでなく、ゲームができる屋台もたくさんありました。動画は射的に挑戦した時のものです(命中)。

3日目は忠烈祠、故宮博物院、民芸品店、免税店、九份観光に行きました。忠烈祠では衛兵交代式を見ることができました。昔戦争で国のために戦った兵士たちを弔うことを目的とされています。故宮博物院ではたくさんの有名な作品を見ました。蒋介石により中国から持ち込まれた作品が2000点展示されており、また70万点の作品が保存されています。この写真の青銅器は3000年前に作られたもので文字が多いほど価値が高いとされています。次にこれは玉という作品で古代中国人が石器時代に作ったものです。邪気払い、不老不死、長寿を願うために使われていました。この屏風は日中戦争の前 昭和天皇にプレゼントされましたが一度中国に返され、蒋介石が台湾に来る時に持ってきたものです。民芸品店ではお茶のセミナーを受けました。日本茶とは味も色も違い色々な違いを感じられました。民芸品店と免税店では食べ物や雑貨などお土産がたくさん売られていました。九份観光では、ジブリ作品の千と千尋の神隠しの世界観を感じることができました。写真スポットや展望台に行くまでの階段が狭くて長い道のりでした。夕方になり、ランタンに明かりが灯されると観光客がどんどん増えて大変混雑しました。



Day4 交流会

4日目は立人高級中学の生徒との交流会でした。日本生徒それぞれに可愛くデコレーションしたネームボードを作って歓迎してくれました。交流会では立人高級中学の生徒たちは台湾と日本がテーマのクイズを用意してくれていました。クイズをペアの子と協力しながら解いていく内、すぐに仲良くなることができました。コミュニケーションの取り方は殆どが英語で、中国語も使いました。自分の言いたいことが英語でも表せない時には翻訳機を使いました。英語力は同じぐらいの人が多く、スムーズに会話をすることができました。次に缶バッジ、キーホルダー作りを体験しました。お昼ご飯はピュッフェ形式で手羽先、チアシードスープ、野菜炒め、焼きうどんなどがあり美味しかったです。私たちの出し物は想定よりも短い時間で行うことになりましたがルールを変えたり、紹介方法を変えたりなど臨機応変に対応できたと思います。出し物はだるま落とし、双六、福笑い、俳句のグループに分かれて行いました。各グループ日本の昔ながらのゲームを紹介し、現地の学校の人と楽しく過ごしていました。交流が終わりに、帰る際には見えなくなるまで手を振ってくれていて、短時間でここまで仲良くなれたのかと胸がいっぱいになりました。

今回の5日間の台湾研修を通して、日本と台湾の文化の相違点を直接肌で感じる事ができました。また、自分自身の能力を向上させることができました。例えば言語力、コミュニケーション能力、積極性などです。また、中国語と英語を使って現地の人とコミュニケーションをとることができました。特に4日目の台湾学生との交流では流暢に話すことよりも、自分の伝えたいことをはっきり伝えることを意識してコミュニケーションをとることができました。また、年齢が近いことで話しやすかったので、自分達から積極的に話しかけることもできました。今回の経験を大切にし、今後の生活はもちろん学習や進路、異文化を理解することに生かしていきたいと思ひます。そして今回このような経験をする事ができ、関わってくださった全ての方に感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。これで報告を終わります。ご清聴ありがとうございました。

(今回の会報担当:谷村修基)